



## さいとうどうさん 齋藤道三は、どんな人だったの



げこくじょう みなのくに  
下剋上によって美濃国をのっ取った人物、として世  
間の評判が悪く、「まむし」とよばれた戦国大名だよ。

齋藤道三は、1494年に、やましろうのくに山城国（京都府）にしのおか西岡のまつなみもとむね松波基宗の子として生まれた、といわれています。11歳で京都のお寺に入れられ、のちにお寺をとおび出し、油商人のむこ養子になって、油の行商をしていた、ともいわれています。

### 主君を追放し、美濃国をのっ取った

道三が20代のとき、美濃国（岐阜県）守護のときまさふさ土岐政房の次男よりなり頼芸に仕えました。道三は芸事が得意だったので、頼芸にかわいがられました。政房が死に、長男まさより政頼が後をつくと、道三は、頼芸をそそのかして、政頼を追放し、頼芸を守護にしました。1542年には、頼芸を追放して、美濃国の支配者になりました。

### 長男よしたつ義龍と戦って死んだ

道三の長男義龍の母は、政頼を追放したほうびとしてもらった、頼芸のそくしつ側室で、まもなく生まれた義龍は、本当は頼芸の子だった、といわれています。道三は、1554年に、義龍に後をつがせて、いんきよ隠居しました。その後、義龍に代えて、その弟を後つぎにしようとしたことから、義龍は二人の弟を殺し、道三と対立しました。1556年、ながらがわ長良川のほとりでの戦いで、道三は義龍に敗れて死にました。義龍側のほうが、兵の数が圧倒的に多かったのは、美濃国の武士のほとんどが土岐氏の一族で、頼芸の子の義龍側についたからだ、といわれています。

### 「まむし」とよばれたほど、評判の悪い人物だった

齋藤道三は、ほうじょうそうん北条早雲とともに、下剋上によって戦国大名となった、代表的な人物です。はかり事をめぐらして、恩人を暗殺したり、主君を追放して国をのっ取ったりしたことから、世間の評判が悪く、「まむし」などとよばれました。